

## 浙江師範大学から副学長御一行が来学されました

6月4日、浙江師範大学から王建力副学長を団長として6名の教職員の方々が和歌山大学にお越しくださいました。浙江師範大学と和歌山大学は、1998年に交流協定を締結して以来、継続的に留学生の受入、派遣を主として活発に交流をしてきました。来年は交流協定の更新時期にあたり、今後の交流の発展に向けて、協議を行いました。浙江師範大学は、学生数30,000人を擁する規模で、歴史ある美しい街として知られる金華にあります。大学では近年、英語授業の拡充に注力しているとのことでした。



王副学長は、これまで学部生の交換留学が中心であった交流を、教員、院生にも発展させていきたいとお話しされ、瀧学長も、博士課程があるシステム工学部、観光学部での受け入れについても視野に入りたいとお伝えしました。



瀧学長が、和歌山は歴史的に中国との深い縁があり、秦の時代に徐福が渡来した地が和歌山であると伝えられていることを紹介すると、訪問団の皆さんはたいへん喜ばれていました。協議では、浙江師範大学からいくつもの具体的な提案がなされ、積極的なグローバル展開にたいへん刺激を受けました。終始なごやかな雰囲気の中、今後の発展的な交流をお互いに約束し、訪問団はキャンパスの視察に向かわれました。



案内役は、現在、交換留学で在学している留学生と、現在、大学職員となっている元留学生です。浙江師範大学と和歌山大学が深い友好関係で結ばれていることを相互に確認し合う機会となりました。

2015年6月4日

国際教育研究センター